

令和2年度 男女共同参画に関する調査・研究報告書

メディアリテラシーの視点による、公的刊 行物における男女共同参画の課題

令和3年8月

長岡市男女平等推進センター ウィルながおか

目次

目的、調査方法、調査過程及び今後の予定・・・ P2、3

全体概要 ・・・ P4

個別報告 ・・・ P5~12

参考資料 ・・・ P13~15

・長岡市広報課「広報活動の手引き」令和3年3月 (抄)

目的、調査方法、調査過程及び今後の予定

1 目的

「長岡市男女共同参画社会基本条例」では、「市は、男女共同参画社会の形成に関する施策を実施するための拠点として、長岡市男女平等推進センターを置くこと(第18条)」、「市は、男女共同参画社会の形成に関する施策を効果的に実施するため、必要な調査及び研究を行い、その成果の活用に努めるものとする(第19条)」と定めている。

これを受け、「第2次ながおか男女共同参画基本計画」では、基本目標1の 事業「メディア・リテラシー(情報解読能力)の学習機会の提供」、基本目標 4の事業「男女共同参画に関する調査・研究」を設け、以下の対象について調 査・研究を行った。

市政だより及び同時配付文書(令和2年4月~令和3年3月)

2 調査方法

(1) 一次チェック

対象となる、市政だより及び同時配布文書のすべての掲載情報を種別(1写真、2図表・イラスト、3文章)ごとに、男女共同参画の視点、人権啓発の視点で一次チェックを行った。チェックに当たっては、内閣府男女共同参画局「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」、長岡市広報課「広報活動の手引き」などを参考にした。

- (2) 二次チェック
 - 一次チェックをまとめた素案について、ウィルながおか職員(5名)が二次チェックを行い、案をまとめた。
- (3) 具体的なチェック内容
 - イメージの固定化をしていないか

悪い例:技術系=男性、介護系=女性 サッカー=男の子、お絵かき=女の子 仕事=男性、家事=女性

・男女を対等な関係で描いているか

悪い例:上司=男性、部下=女性 加害者=男性、被害者=女性

・男女で異なった表現を使用していないか

悪い例:委員数○人(うち女性□人) キーマン、カメラマン、父兄、看護婦など 女性初の~など女性を強調する表現

- ・男女の写真、イラストがバランスよく登場しているか
- ・男性から見ても、女性から見ても、違和感のない表現になっているか

- 3 調査過程及び今後の予定
- (1) 令和元年度
 - 10月 平成30年「男女共同参画に関する調査・研究報告書」作成・公表
 - 3月 長岡市広報課「広報活動の手引き」改訂
- (2) 令和2年度
 - 4月 令和元年度「男女共同参画に関する調査・研究報告書(案)」作成 同案について関係課の意見聴取
 - 8月 長岡市男女共同参画審議会報告
 - 10月 令和元年度「男女共同参画に関する調査・研究報告書」公表
 - 11月 メディアリテラシー講座(第34回ウィルながおかフォーラム)開催
 - 2月 「アンコンシャス・バイアス研修」開催(人事課)
 - 3月 長岡市広報課「広報活動の手引き」改訂
- (3) 令和3年度
 - 4月 令和2年度「男女共同参画に関する調査・研究報告書(案)」作成 同案について関係課の意見聴取
 - 7月 長岡市男女共同参画審議会報告 「アンコンシャス・バイアス研修」開催(人事課)
 - 8月 令和2年度「男女共同参画に関する調査・研究報告書」公表
 - 11月 メディアリテラシーの職員向けセミナーの開催
- (4) 令和4年度
 - 4月 最終報告書案 (平成30~令和3年度) の作成
 - 7月 長岡市男女共同参画審議会に報告
 - 8月 「男女共同参画に関する調査・研究最終報告書」公表

全体概要

1 対象

市政だより(令和2年4月号~令和3年3月号)及び同時配付文書34点 (対象点数については、令和元年度までは写真、図表・イラスト、文章記事 を1点ずつ集計していたが、今回から発行文書数とする。)

2 全体概要

【総 括】

- ・令和3年3月市議会で、磯田市長は長岡市の女性活躍に向けた方針として「女性の活躍を推進することは、SDGsの目標のひとつとなっております。本市にとっても、ジェンダー平等、男女共同参画の実現、そして女性活躍の推進は、最も重要な課題のひとつであると認識しております」と述べている。また、無意識の偏見を生まない広報を行うため、「広報活動の手引き」にある「男女共同参画の視点による広報チェックリスト」の活用を改めて全庁に促すことについても明言された。
- ・市政だよりについては、令和元年度の報告書に比べ、性別による固定的な役割分担をイメージさせるような写真やイラストが減り、指摘箇所数は、令和元年度は22か所、令和2年度は13か所と約半数となった。
- ・全体の指摘箇所は減ったものの、家庭に関することやイベントの周知においては女性を、技術系の職種においては男性を取り上げる例が散見された。性別による固定的な役割分担をイメージさせるような写真やイラストは避けるよう、引き続き工夫を求めたい。
- ・イベントや特集記事においては、性別の偏りがあるものがあったため、男女 共同参画の視点を持った企画とすることや、性別を限定する必要がある場合 には理由を説明できるようにしておくことが重要である。

【対応案】

- ・「男女共同参画に関する調査・研究報告書」を受け、令和元年度及び2年度に「広報活動の手引き」を改訂した。令和3年度には、「男女共同参画の視点による広報チェックリスト」を活用するよう全庁的に通知した。この通知には、具体的な事例が理解しやすいよう本報告書の抜粋を添付した。職員一人ひとりが男女共同参画の視点を持って公的刊行物を作成するため、今後もチェックリストの活用を周知する。
- ・無意識の偏見(アンコンシャス・バイアス)は誰でもが何かしら持っており、 それ自体が直ちに問題となるわけではないが、自覚しないで放置しておく と、女性への差別など様々な問題を引き起こす要因になる。令和2年度には、 職員向け研修のほか、市民向けの研修が開催されたが、引き続き、研修など による啓発を行い、男女共同参画の推進に取り組む必要がある。

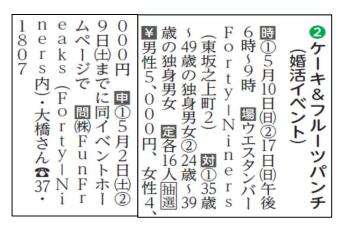
個別報告

市政だより及び同時配布文書の掲載情報を種別(1 写真、2 図表・イラスト、3 文章)に分け、男女共同参画の視点、人権啓発の視点でチェックを行った。その結果、指摘事項は次のとおりである。

< 市政だより 4月号6ページ > 財政課、広報課



子育て支援に力を入れている長 岡市として、当初予算発表の記事 の最初の写真に子育ての駅でくて くの写真を選んだことは、妥当と 思われる。現場にいた親子と母子 保健推進員の触れ合いの場面を取 り上げた結果、写真が女性のみと なったが、子育で=女性とのイメ ージを固定化させないよう、人物 や写真の選定は常に意識していく 必要がある。 < 市政だより 4月号18ページ他> ながおか・若者・しごと機構



婚活イベントについては、男性と女性で参加費に差があるなど、募集要件が異なる場合、理由や目的を説明できるようにしておく必要がある。

9月号20・21ページ、11月号31ページ、12月号26ページ、1月号26ページ、3 月号17ページに同様の婚活イベントの記事があるが、男女共同参画の視点で引き続き 確認が必要である。

< 市政だより 4月号19ページ > スポーツ振興課

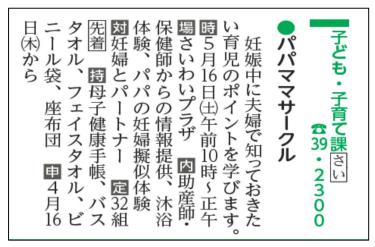


南部体育館☆3・3600	①キッズ運動	13⊟	月	16:00~17:00	90	年長~小学3年生	20人	4,500円
	②はじめてのピラティス			19:30~20:30		どなたでも	15.1	5,400円
	③シニアいきいき体操	14⊟	火	10:00~11:00	120	60歳以上	15人	6,000円
	④女性のためのシェイプアップエクササイズ			19:30~20:30		女性		
	⑤体幹トレーニング	15日	水	10:00~11:00	100			5,000円
	⑥かんたんリズム体操			12:00~13:00			30人	4,800円
	⑦リラックスアロマヨガ			14:00~15:00				4,000円
	⑧パレトン (水)			19:30~20:30	100		15人	6,000円
	⑨ナイトヨガ	16⊟	木	20:10~21:10	130	どなたでも		7,800円
	⑩やさしいウォーキング	17日	金	10:00~11:00	120		25人	6,000円
	⑪バランスボールエクササイズ			14:00~15:00			10人	0,000
	⑫バレトン (金)			19:00~20:00			15人	7,200円
	③シェイプアップボクシング			20:10~21:10			30人	6,000円
	④運動スキルアップ	18⊟	±	9:30~10:30	70	小学1~3年生	20人	3,500円

「ホットヨガ」と「フラダンス」「シェイプアップエクササイズ」において対象を「女性」としているが、募集対象の性別を限定する場合、理由や目的を説明できるようにしておく必要がある。

ダンスやヨガが決して女性だけのものではないと理解したうえで、市民ニーズ等をとらえ女性対象としているのであればよいが、そうでなければ、性別を対象とした募集をしない。

< 市政だより 4月号 22 ページ 他各号> 子ども・子育て課



「夫婦で」は、多様性の観点から、「夫婦」に限定しない表現を工夫した方がよい。例えば、「パートナー」、「夫婦やパートナー」などが考えられる。

市政だより 5月号 24 ページ、7月号 21 ページ、8月号 23 ページ、9月号 28 ページ、10月号 28 ページ、11月号 25 ページ、12月号 20 ページ、1月号 29 ページ、2月号 22 ページ、3月号 17 ページにも記事あり。

指摘を受け、担当課では令和3年度から「夫婦で」を削除することとなった。

< 市政だより 4月号28ページ > 人事課



消防職員、技術職員が男性というイメージにつながる可能性がある。

前年度は女性の消防職員を起用するなど配慮は見られるため、性別による固定的な役割分担を意識した人選に継続的に取り組んでほしい。

< 市政だより6月号 8ページ > 消防本部警防課

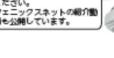


救急時も素早い対応が可能に フェニックスネット

かかりつけの医療機関や緊急連絡先などを事 前に登録すると、救急隊員がタブレット端末を 使い現場で確認できます。緊急時の素早い処置・ 搬送や、搬送先での迅速な治療につながります。

★電子中請ができるようになりました

自宅のパソコンやスマートフォンで電子中間ができます。詳しくは市ホームページをご覧 してさい。 フェニックスネットの紹介動 圏も公開しています。



■長寿はつらつ課金39・2268、 消防本部制防課金35・2169



救急隊員は男性の職業と連想させる懸念がある。記事の掲載スペースにもよるが、女性隊員も一緒に掲載できるとよかったのではないか。

< 市政だより8月号 10ページ > 観光事業課

8/1 ±

おうちで平和祭

当日はケーブルテレビNCTとスマートフォン用アプリ「NCTコネクト」、FMながおかで生中継!

圖午後 6 時~8 時、午後10時25分~10時35分 圖長岡 商工会議所☎32・4500

- ●平和のメッセージ&パルーンリリース
- ●おうちで大民踊流し! Žoomで踊ろう

ウェブ会議システム「Zoom」で、民踊流しに参加 できます。参加方法など詳しくは長岡青年会議所ホ ームページで。

- ●TEAM SHACHI(シャ チ) と中越高校吹奏楽 部によるミニライブ
- 中澤卓也ミニライブ
- ●Y´Sパトンスタジオ 長岡市消防音楽隊 悠久太鼓 など



▲昨年の大民踊流し

大民踊流しの写真が主に女性である。女性のみの写真を用いる意図が、 もし「華やかだから」「目を引くから」 というキャッチ的な意図であれば問題 がある。

女性の参加者の方が多いという実情 はあるが、男女どちらも写っている写 真にする、男性のみ女性のみを1枚ず つ用いて組み写真にするなどの工夫も できるのではないか。

< 市政だより 8月号11ページ 他各号> 中心市街地整備室

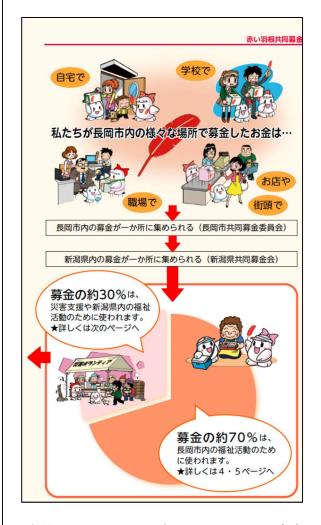


「米百俵プレイス(仮称)」(以下、「米プレ」という)の概要や期待の 声を紹介するコラムが連載された。

長岡のまちの礎を築いた「先人」と、米プレに入居予定の関係機関の代表者を通じて、米プレの特徴的な機能や期待の声を伝える内容であった。先人と現代の人物、計 16 人が登場しているが、男性のみであった。

関係機関の代表者へのインタビューという企画意図により男性のみが選定されたが、女性も取り上げることによって、さらに広く理解を得られたのではないか。

< ながおか社協だより vol. 171 2、10 ページ > 福祉総務課 2ページ



10ページ



女性のイラストがエプロンをしている。家事=女性という性別による固定化したイメ ージがあるのではないか。

男女ともに家事をするイラストをバランス良く入れるなど、イラストの選び方を工夫 する必要がある。 <水道だより No.53 1、2ページ> 水道局

1ページ

宅地内で漏水したときは

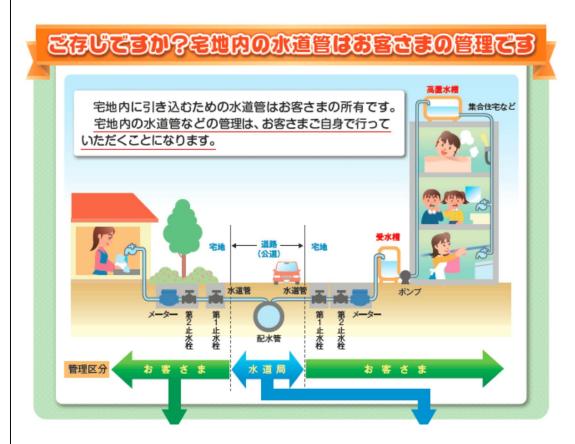
長岡市指定の水道修理業者に修理 を依頼してください。修理業者は、長 岡市ホームページで公開しています。

長岡市指定給水装置工事事業者

検索伽



2ページ



女性のイラストがエプロンをしている。家事=女性という性別による固定化したイメージがあるのではないか。

男女ともに家事をするイラストをバランス良く入れるなど、イラストの選び方を工夫 する必要がある。

第2章 配慮ある情報発信を

市が発信する情報は公共性が高く、市民意識に大きな影響を及ぼす可能性があることから、広報する際には誤解を招くような表現があってはなりません。また、女性、子ども、高齢者、障害者、外国人など多様な受け手がいることを意識し、誰もが理解しやすい内容にする必要があります。

既にある広報・出版物も、男女共同参画や、デザイン・文字の見やすさなどの観点から、 常に見直すようにしましょう。

1 男女共同参画の視点をいつも意識する

平成27年9月、国連サミットでSDGs(Sustainable Development Goals,持続可能な開発目標)が採択されました。この目標5が「ジェンダーの平等を達成し、すべての女性と女児のエンパワーメントを図る」です。令和元年に国が定めた「SDGs実施指針改定版」では、人権の尊重とジェンダー平等の実現が全ての目標の実現に不可欠であるとされています。

広報において男女共同参画の視点を持つと、自分が伝えたいと考えていた相手のイメージが意外に狭く、型にはまっていることが多いと気付くでしょう。広報の受け手には、男性も女性もいることを念頭において表現することは、これまでの固定的な考えにとらわれない、魅力的な広報につながります。そのためには、日ごろの業務において、常に男女共同参画の視点を意識して取り組むことが大切です。

(1) 性別によってイメージを固定化していませんか?

「男は仕事、女は家庭」といった性別による固定的な役割分担を強調したり、 性別で職業を分ける表現ばかりを用いるのではなく、男女が仕事や家事・育児・ 介護などで協力したり、さまざまな職業に就いたりしている現実を反映させる表 現を心掛けましょう。

イラストや写真の使用の際には、意図しなくても、結果として差別的な表現になってしまう場合があるため、注意が必要です。男性が介護をしているイラストがなかったり、家族のイラストで母親と思われる人がエプロンをつけていたりすることは、無意識の偏見(アンコンシャス・バイアス)といえます。無意識の偏見は、誰もが何かしら持っており、それ自体が直ちに問題になるわけではありません。しかし、自覚しないで放置しておくと、女性への差別などさまざまな問題を引き起こす要因になります。無意識の偏見に気付き、それを自覚することが求められています。

<悪い例> ・技術系=男性、介護系=女性

- ・サッカー=男の子、お絵かき=女の子
- ・保育士=女性、医師・弁護士=男性
- ・エプロン=女性、作業服=男性

(2) 男女を対等な関係で描いていますか?

性別による上下をつける意図はなくても、男性がいつもリーダーだったり、被 害者がいつも女性だったりと、男性優位の固定観念が根底にあるかのような表現 が見られます。

慣習的に続けてきた表現も漫然とは用いず、陥りがちな問題を意識し、男女対 等の観点から見直す態度が必要です。

<悪い例> ・お茶出し=女性

・上司=男性、部下=女性

(3) 男女で異なった表現を使っていませんか?

男性と女性は対等であり、協力し合う関係です。男女で異なる表現をする場合は注意が必要です。

当たり前との思い込みから、何気なく使ってしまう表現もありますが、適切な 言葉を探すことが大切です。対称的かつ平等な表現を心掛けましょう。

<例> × 委員数□人(うち女性□人) → ○ 委員数□人(男性□人、女性□人)

- × キーマン → キーパーソン
- × カメラマン → ○フォトグラファー
- × 父兄 → 保護者
- × 女性初(女性を強調する表現はNG)

(4) 女性をむやみに"アイキャッチャー*1"にしていませんか?

「第2次ながおか男女共同参画基本計画」では、女性活躍推進を重要な施策として位置付けています。活躍する女性を写真などで紹介することは推奨すべきですが、単に目を引くためや親しみやすさを持たせるため、内容とは関係なく女性の姿や身体の一部を写真などで使用する場合があります。

このような広報物は、女性をモノとして扱っていると批判されても仕方ありません。安易に女性をアイキャッチャーとして起用せず、目的にあった、効果的な表現方法を工夫しましょう。

※1 広告に注目させるための視覚的要素のこと。広告の手法の一つ

男女共同参画の視点による広報チェックリスト

□ 男女共同参画の視点を持ち、伝えたい内容、伝えたい対象、特に目的や
強調したい点は何かなどを考えましたか?
□ 性別によるイメージや役割の固定化など、誰もが無意識の偏見(アンコ
ンシャス・バイアス)を持っていることを自覚していますか?
【作成過程】
◆内容
□ 男女どちらかに偏った内容になっていませんか?
□ 登場人物は、男女のバランスが取れていますか?
□ 年齢や職業など多様なタイプの男女が描かれていますか?
◆文章表現
□ 男女双方が想定された表現になっていますか?
□ 男性、女性で役割を決めつけて表現していませんか?(女性=家庭、男
性=仕事など)
□ 男女に主従、上下、強弱の関係があるような表現になっていませんか?
□ 男女いずれにも使える言葉を使っていますか? 男女で異なる表現、
いずれかに特有な表現をしていませんか? (例:サラリーマン→会社
員、カメラマン→フォトグラファーなど)
◆写真
□ 女性の写真をアイキャッチャーとして使用していませんか?
□ 写真に写る人物は、男女のバランスが取れていますか?
◆イラスト
□ 性別による特定のイメージを持たせるものになっていませんか?(女
性=エプロン、男性=作業服など)
【最後の確認】
□ 女性から見ても、男性から見ても、違和感のない表現になっています
か?(まわりの人たちに意見を聞いてみましょう。)

< 令和2年度 男女共同参画に関する調査・研究報告書 >

令和3年8月発行

長岡市市民協働推進部人権・男女共同参画課 長岡市男女平等推進センター ウィルながおか